



clusterで描く

ミライ・キョウカイ

未来教育

第2回 9/13(水)20:00~

clusterでの教育のパターンの
アイデアを示した後、会場の
皆様からコメントを頂きつつ
フリートークを行っていきます。

cluster教育の様々なスタイル

- 端末を使うのは教師だけ
- 全ての生徒・学生が端末を使う
- その中間

まずは準備に時間がかかる!

- アカウント作成・インストール
 - clusterツアー・入室
- それをする数が少ないほど
安定するのは間違いない



教師だけが端末を操作する場合

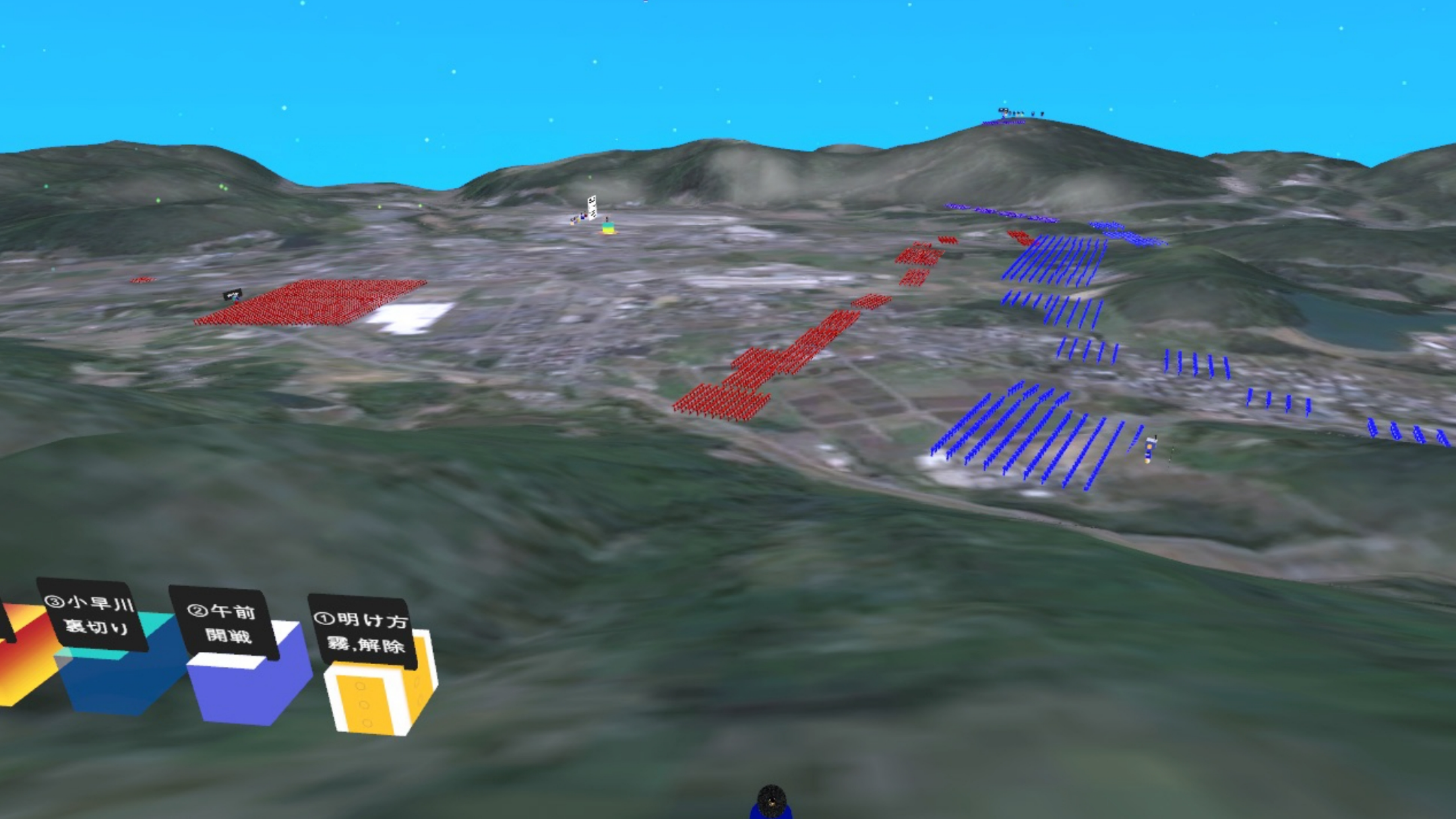


- 事前に準備をほぼ全て完了できる
- clusterへのアクセスを申請する
ハードルも下がる(そもそも不要?)
- 生徒・学生に操作を覚えさせる必要ナシ

**当然、生徒や学生の
主体的な学びは
あまり得られない
が、工夫のしようはある**

ワールド自体の魅力で勝負

- アフロッティ先生のような、ワールド自体に工夫と魅力を感じるものを準備して教師がそのワールド内で動きながら説明
- 位置づけとしてはやや動画教材に近い



③小早川
裏切り

②午前
開戦

①明け方
霧,解除

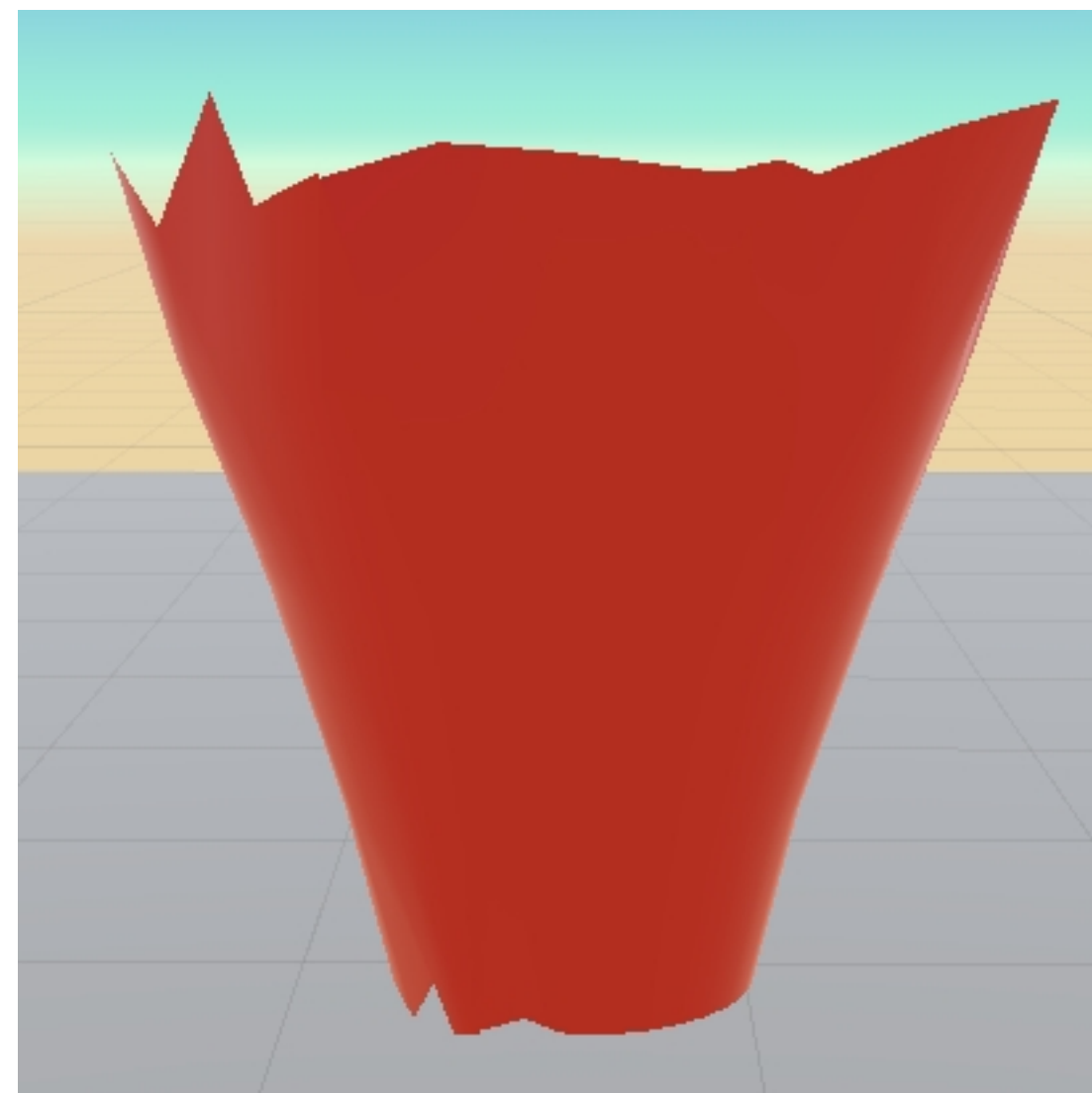
メタバースの世界で起きる 不思議な現象の活用

例：マテリアル遊び

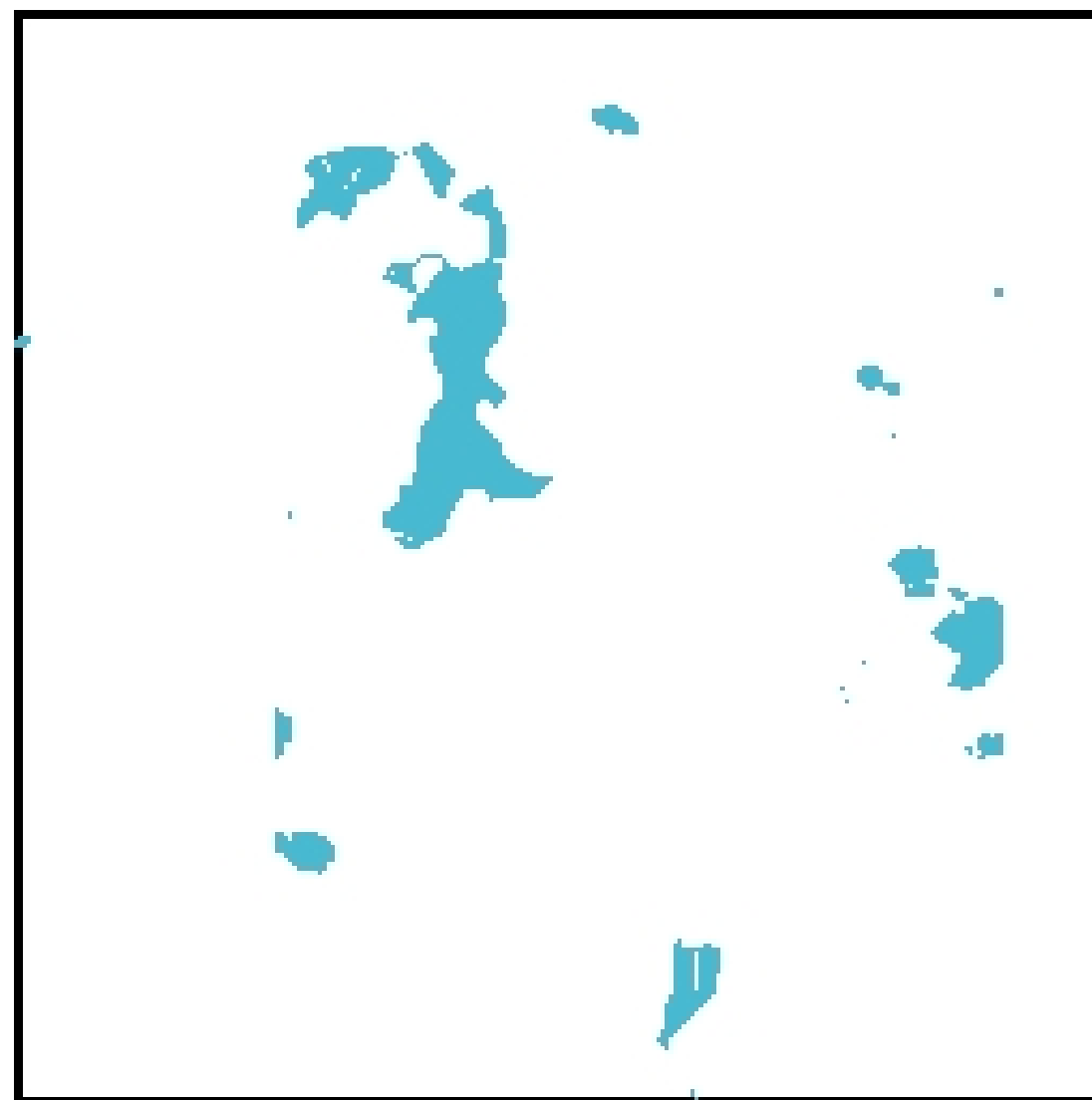
vinsの**ア**ク**セ**サリ、
ど**う**つ**く**ら**れ**て**い**る**か**
わ**か**り**ま**す**か**？



ちなみに
「ブルーム」が
設定してある
ワールドだと
光ります



+

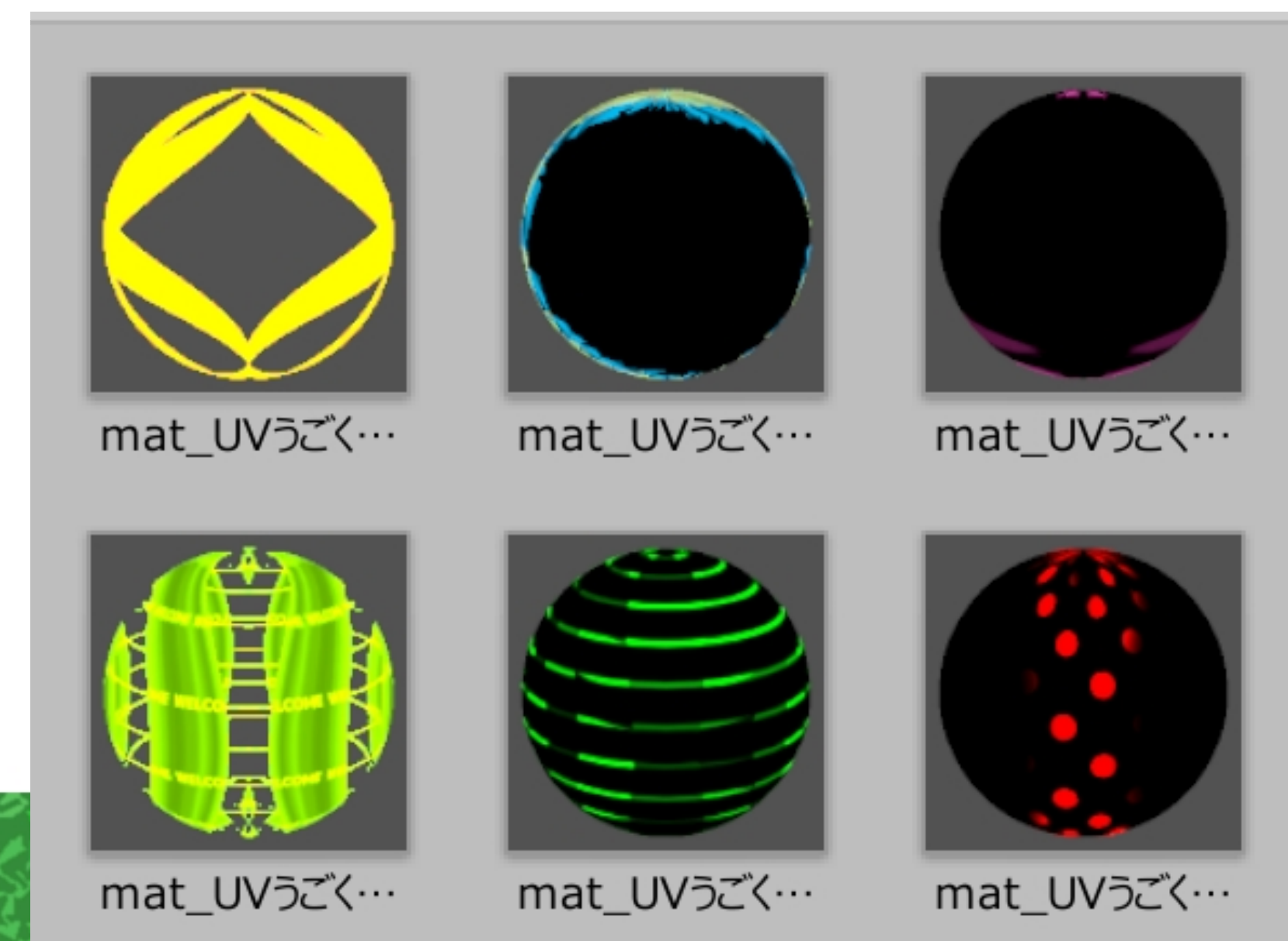
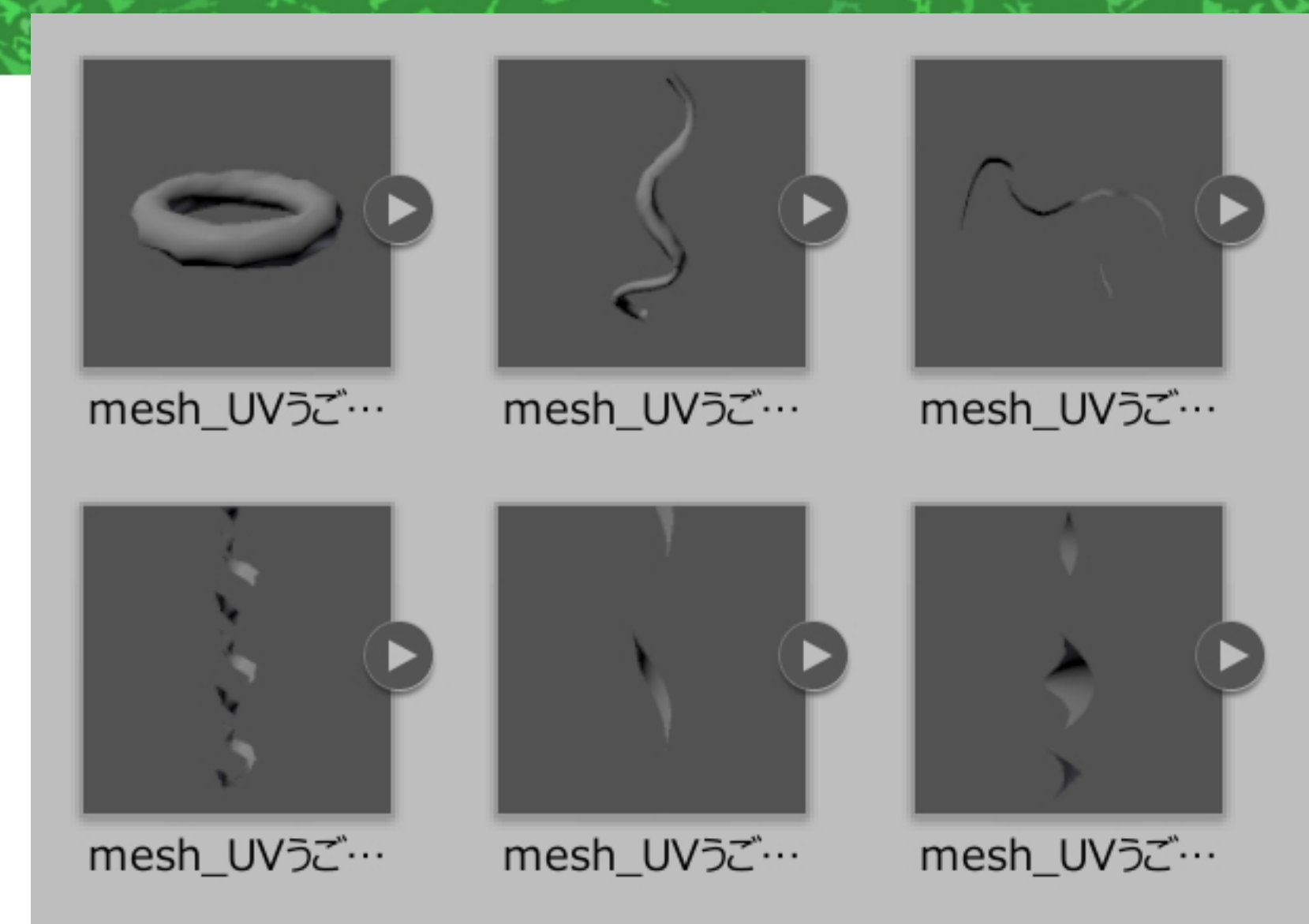


=



マテリアル遊び

様々なモデル(メッシュ)と
マテリアルを選ばせて
生徒に結果を想像させる



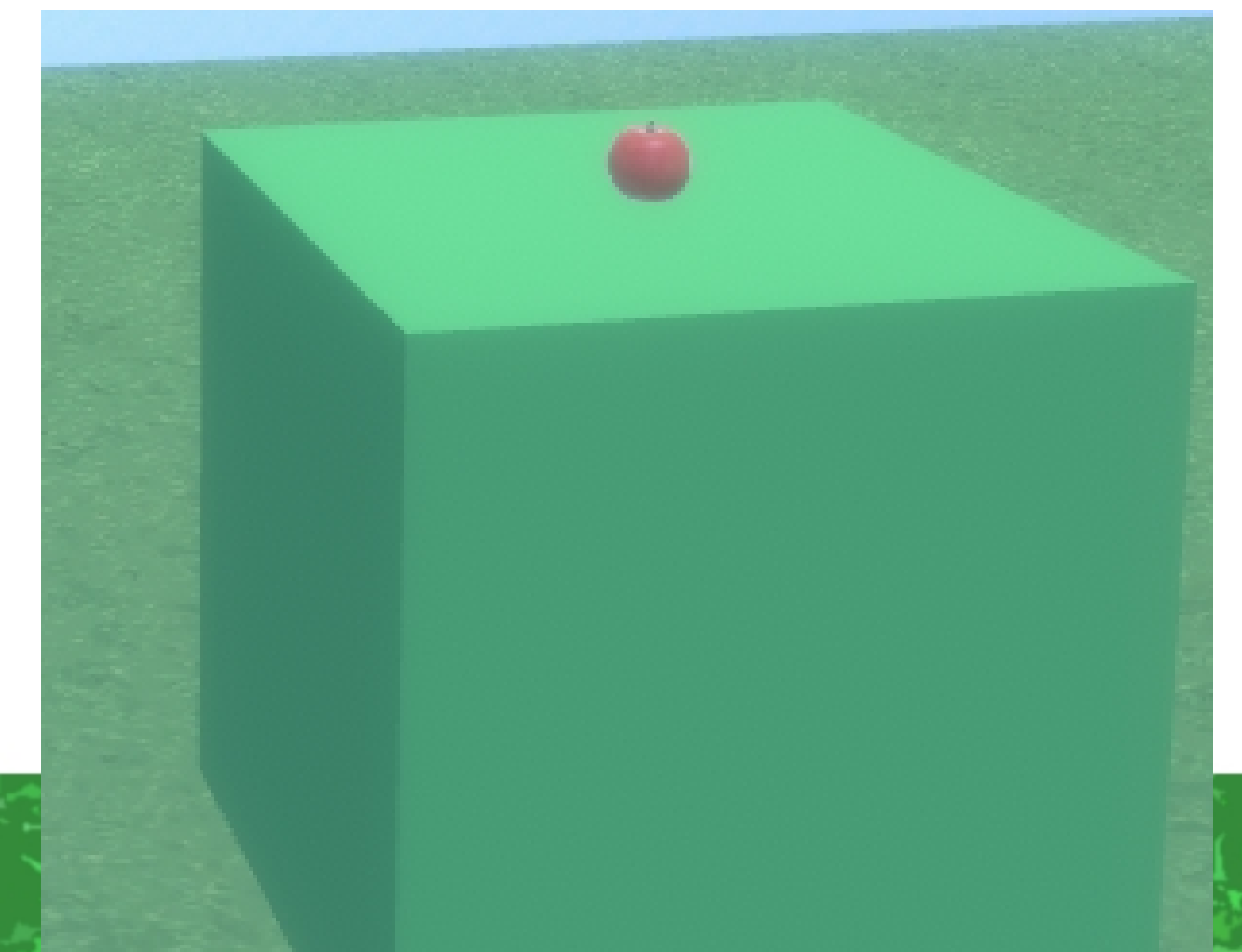
英語で反応

ワールドクラフトで教師が
配置したものをカンタンな
英語で言う/または書かせる

There is an apple
on the box!

You see an apple
and a green box.

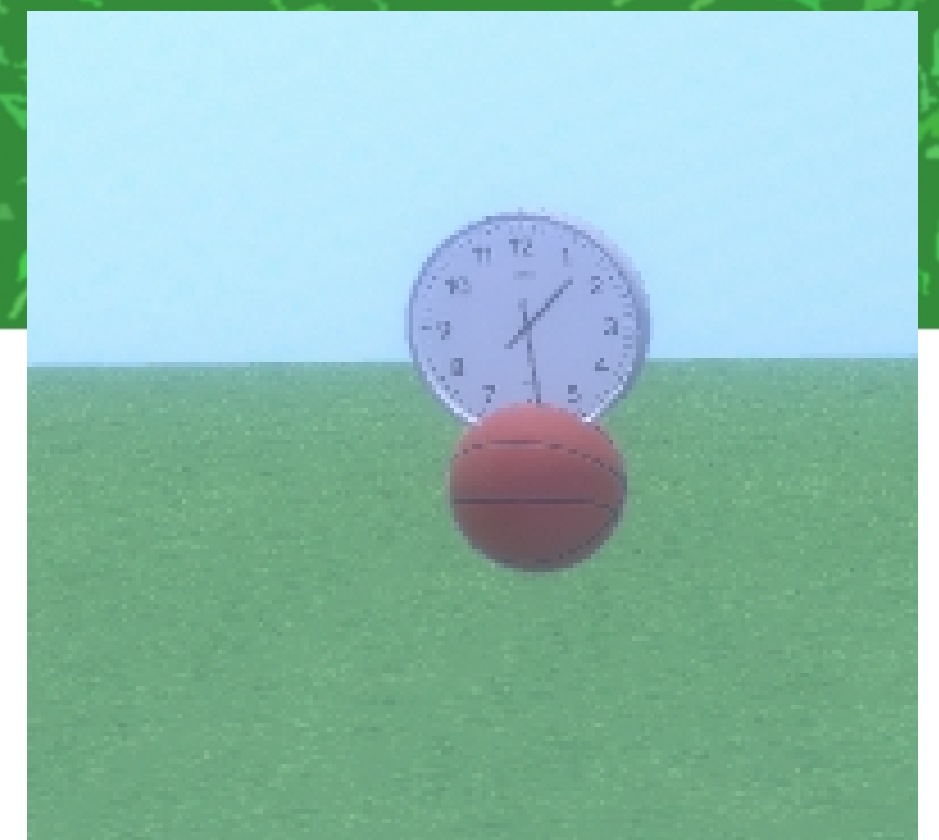
Green! Red no Nanka!
Hako ga a~rimasu!



**意外と「絵」を用意するのは
難しいし、その場で変えるのも難しい**

アイテムの位置を変えまくって
on/in/byを使い分けるなど

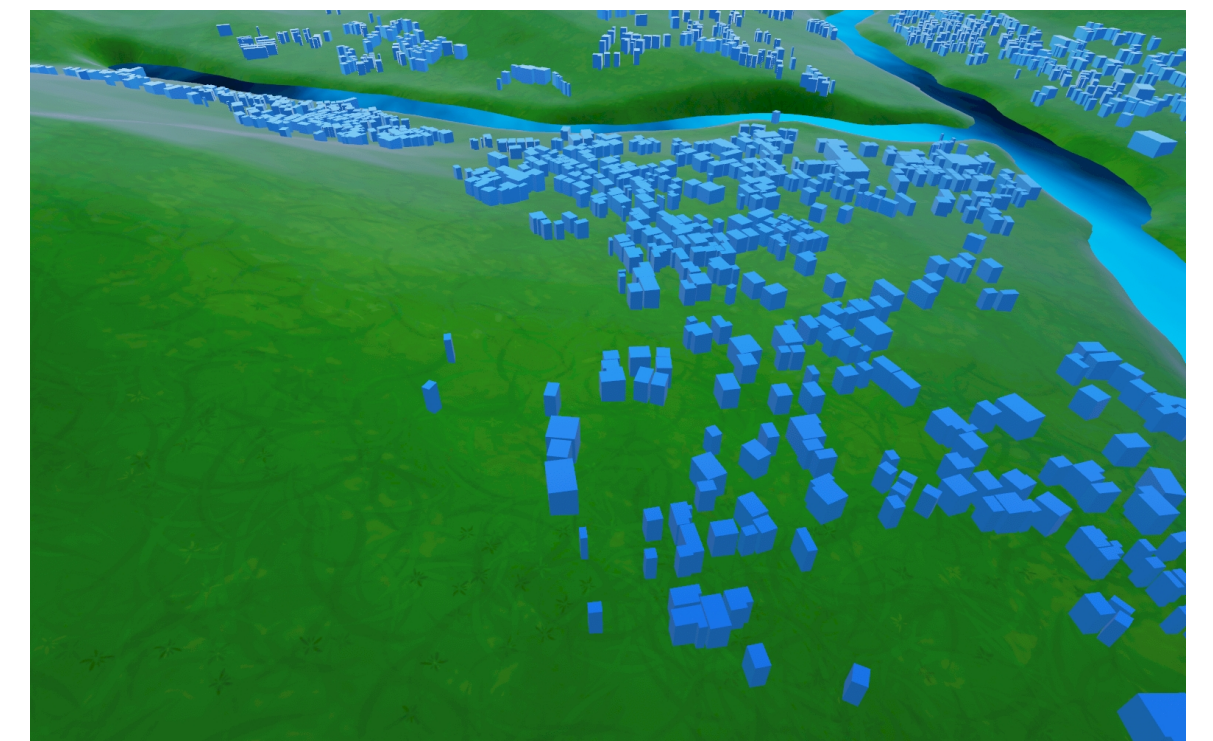
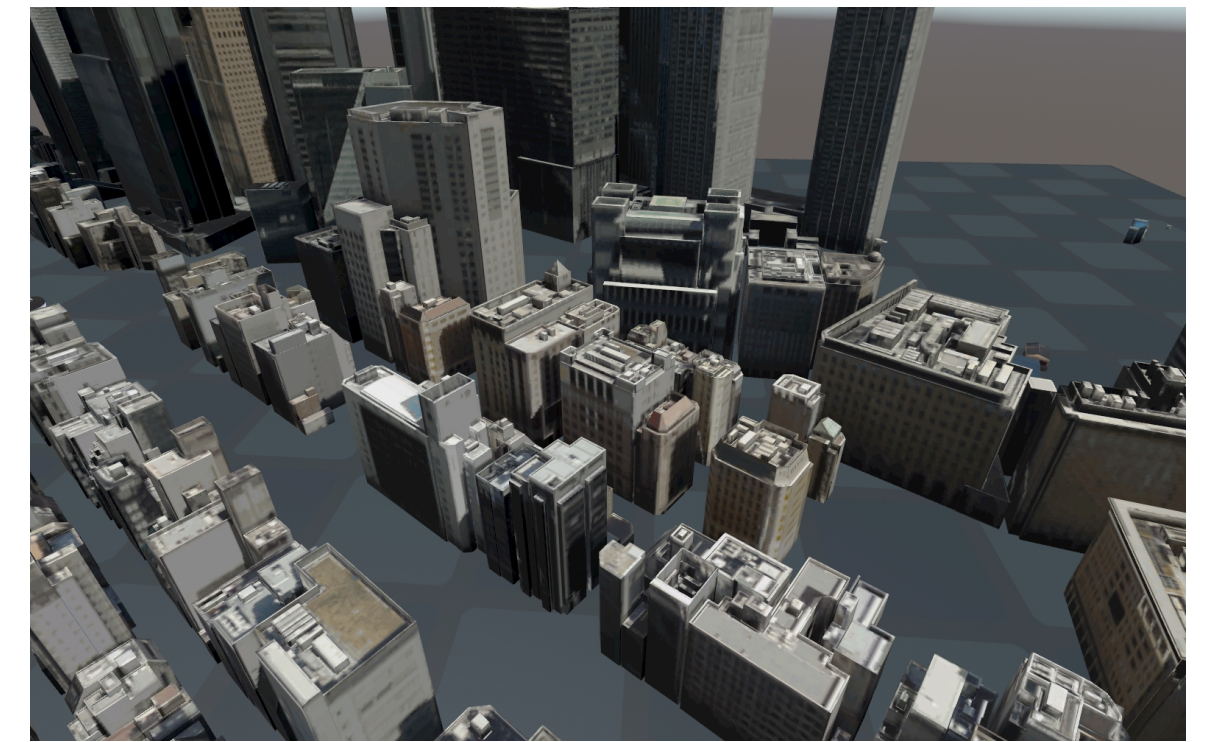
ピッタリくっつかないこともある点は注意



PLATEAU、GoogleEarth などの地形取り込み

「これはどこ？」と生徒に問う

※教師の技術力は要る



**しかし、やはり生徒が
触ってこそそのcluster教育**

- **インストールと並行しての
紙課題や紙の説明なども準備**
- **「全員のインストールは
一発で終わらなくていい」感覚**

6人に1人くらい、最悪クラスで
2人くらいでもインストール・
操作の基本に進めた
生徒がいれば成立はする

(ただしあまりに少ない場合は大型画面に映す環境が必要)



スキルや生徒の性格によって 班分けの妙が問われるのは 通常の授業と同じ

ただ、まず操作させてみないと
クラス全体のレベルや各生徒のレベルが
わかりづらいところもある



「何もしない生徒」が出ないために ルール設定が重要

例：ワールドクラフトで、必ず1人1つ以上アイテムを設置する。

自分がだいたいどういうものをどういうところに

設置したのかは紙もしくはデジタルのレポートで短く説明

※ただし初回はカオスになる可能性があるので
とにかく触ってみるだけでも合格かもしれない

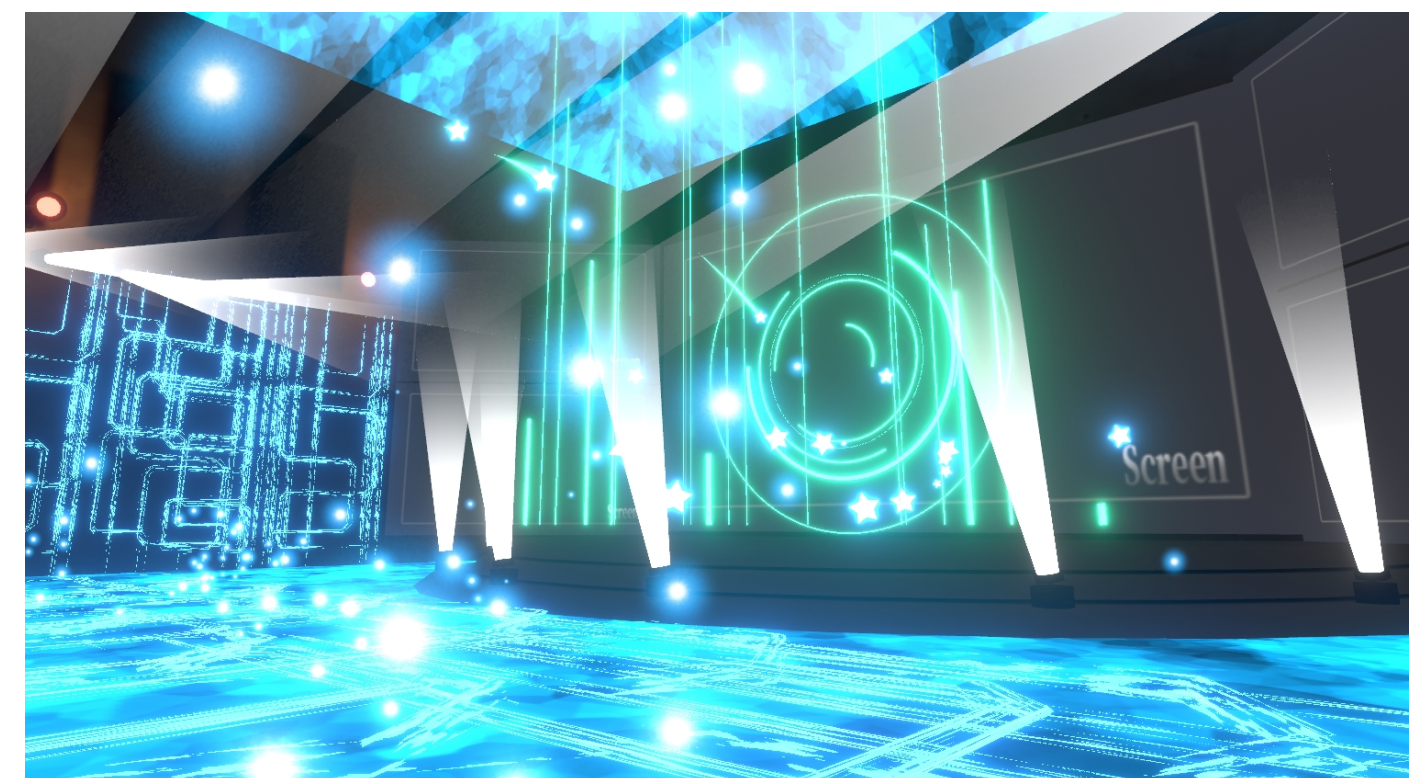
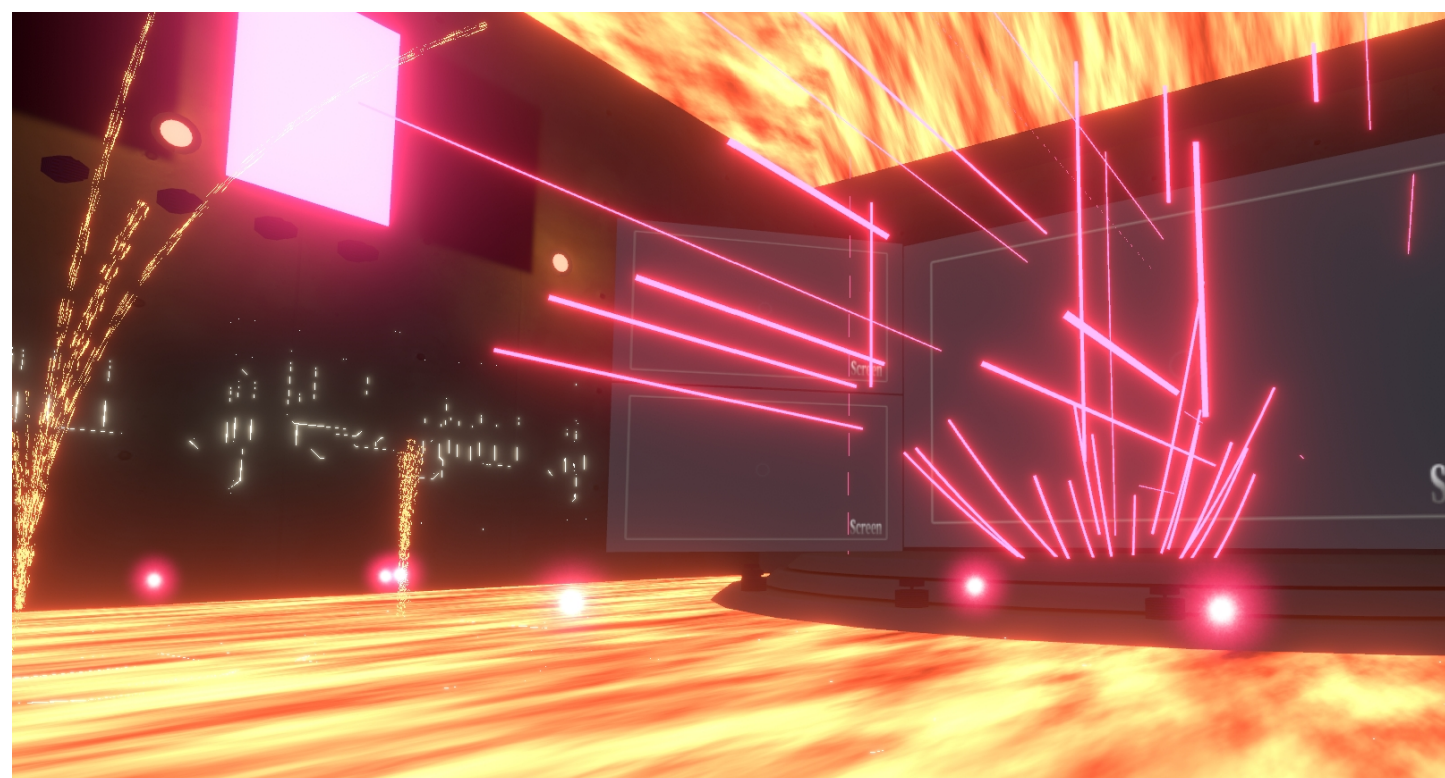
必然的に生まれる突出した 生徒・学生をどう位置づけるか

- リーダー（支援的リーダー/先導的リーダー）
- 助手
- 先進的課題を与える

**具体的授業のイメージを
さらっと出して終わりにします**

EJ遊び

エフェクト・ジョッキー



- 様々なパーティクルなどが出るワールドを用意
→ ボタンによってパーティクルがON/OFF
- 体育の授業で行った創作ダンスの動画などを
スクリーンに流しておくのも良い

メタバース劇(朗読劇)

- 国語の教材などに沿ったカンタンなワールド、もしくはスクリーンにPDFなどで順に背景画像
- アバターによって舞台上に登場し、読み上げる
(VRならなお良いが、かなり環境整備が必要)

エモートダンス

- 好きなアクセサリ/アイテムを
持ってエモートをうまく使って踊る
- ただ「ノリノリ」を使うだけでなく
工夫をしているかどうかを見る
- できればワールドも選ばせる



比喩表現クラフト

「○○中学」を表現しなさい、など

※ヒント(習作)はおそらく必要

→校門の横にあるデカイ石で表現、とか

初回は班の単位で、比喩の対象も中身も自由にさせたほうがよいと思われる

課題クラフト

- 白いアイテムを色々探そう
- 床をたくさん敷こう • 壁を張ろう
→ 家にするにはどうすればいい?
- 高いところにのぼろう → どんなアイテムがある?



先生への「発注」

あなたの作ったワールドに何がほしい？
どんなアクセサリをつけてみたい？

→先生に「発注」する練習

(注意深くやるなら、スキルの高い生徒でも)



**まだまだ色々
ありますが.....**

**※アバター作成とかは
最初にやることとしては鉄板**

1. ワールド自体が教材

2. マテリアル遊び

3. 英語で反応

4. EJ遊び

5. メタバーズ劇(朗読)

6. エモートダンス

7. 比喩表現クラフト

8. 課題クラフト

9. 教師への「発注」

10. アバター作成

A. 導入中・前の課題 B. 授業中の課題 C. その他

ありがとうございます

ございました！